

2016年9月30日

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

認定特定非営利活動法人日本NPOセンター

2016年度「SAVE JAPAN プロジェクト」の展開

～ 企業とNPOが協働した日本の希少生物種の保全活動 ～

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤敬二）は、認定特定非営利活動法人日本NPOセンター（代表理事：早瀬昇、以下、「日本NPOセンター」）とともに、環境NPOと連携して市民参加型の生物多様性の保全活動を行う「SAVE JAPAN プロジェクト」を全国で開催します。2011年度から開始したこの取組みは今年で6年度目となります。

1. 「SAVE JAPAN プロジェクト」の概要

お客さまが自動車保険等のご加入時にWeb約款・Web証券を選択いただいたり、自動車事故の修理時にリサイクル部品などを活用いただいた際に、削減できたコストの一部を活用して、環境NPOなどに助成を行い、日本NPOセンター、地域の市民活動を支援するNPO支援センター、全国の環境NPOと協働で、市民参加型の生物多様性保全活動を行うプロジェクトです。

このプロジェクトは、市民の皆さまに身近な自然環境に関心を持っていただく機会を提供するとともに、企業とNPOが市民の皆さまと協働で環境保全活動を実施することで「いきものが住みやすい環境づくり」を目指しています。

2. 2016年度の展開方針

プロジェクト開始から5年が経過し、一般参加者のプロジェクト認知度向上により地域の自然環境への関心や生物多様性への理解の向上に効果が出てきました。

2016年度はより地域の独自性を活かした「いきものが住みやすい環境づくり」を進めるために、多様な主体との「連携」「協働」を促進し、持続的に地域に定着した取組みとなることを目指します。10月1日以降、野鳥との出会いを楽しむ石川のイベントや絶滅危惧種の植栽を体験する神奈川のイベントを皮切りに、2017年9月までの期間、全国で地域の希少生物種保全をテーマとした体験型イベントを開催します。

開催地域の協働団体および各地のイベント情報は、以下専用ウェブサイト順次公開していきます。

【SAVE JAPAN プロジェクト 専用ウェブサイト】 <http://savejapan-pj.net/>

